



シン・生活と学習の記録

佐藤瑠俐 畠中和心

背景・目的

毎日記入している『生活と学習の記録』に効果を実感しておらず、ただ「書く」だけの作業になっていると感じた。

1. 記入する項目やデバイスを変更すればもっと有効活用できると思った。
2. デジタル版(Googleスプレッドシートで作成)で行えばもっといい生活と学習の記録が作れるのではないかと思った。

すでに分かっていること

アンケートから、生活と学習の記録を活かしている人が一年生、二年生ともに少ないと感じた。中間発表の感想で一年生の方が、紙媒体だとかさばってしまうから使いづらいという意見があった。

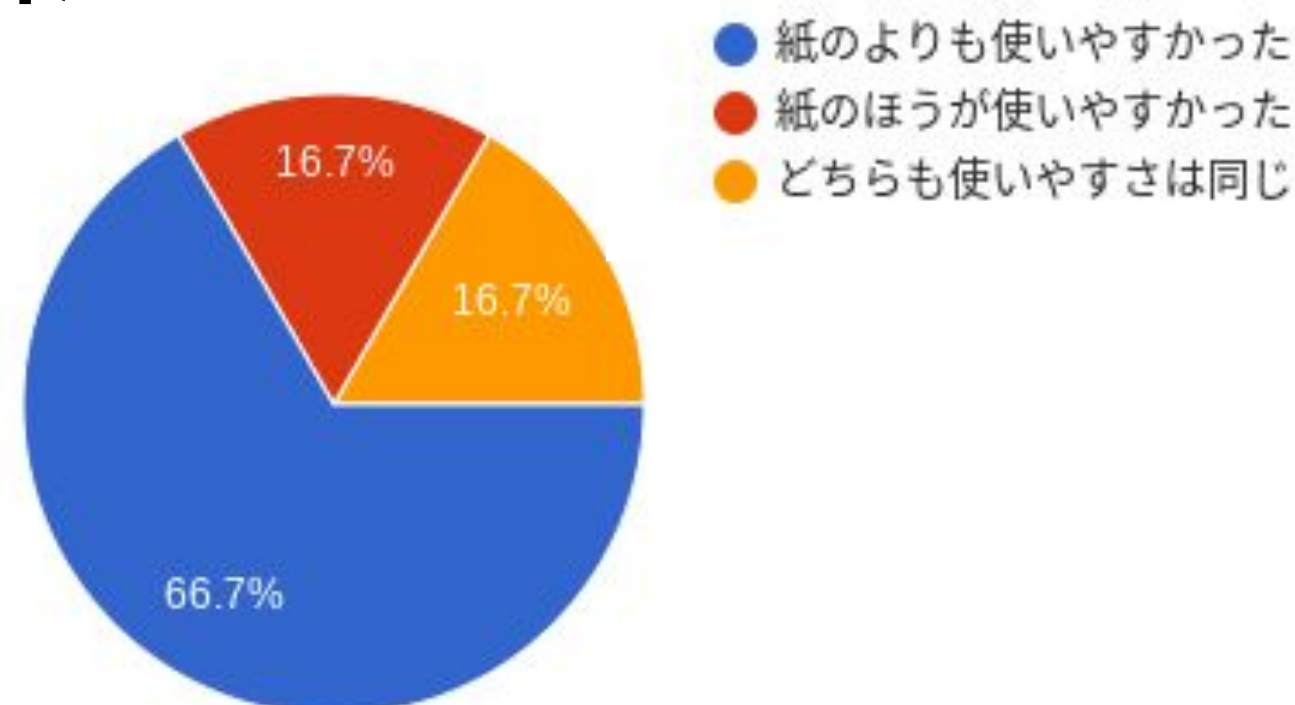
仮説

紙媒体の生活と学習の記録よりもスプレッドシート版の生活と学習の記録のほうが使いやすくなる。

研究の方法

- ① スプレッドシートで生活と学習の記録のデジタル版を作成する。
- ② 2-1を検証対象クラスとし、1/8日~1/14日の間、実際に使ってもらおう。
- ③ 使ってもらったあとにアンケートをとる。
- ④ アンケート結果を基に生活と学習の記録の改善方法を見つける。

結果



結論

紙媒体よりGoogleスプレッドシート版のほうが使いやすい。

考察

検証期間後、アンケートを取ったところ「プライベートなこともかけるようにしてほしい」という回答があった。これを受け、記入内容は指定せず、個人で自由に記入できるようにすれば良いと考察する。

しかし、記入内容が自由になったことで提出率が低下することに繋がらないように再度検討する必要がある。

今後の展望

自分の生活や勉強を見直すきっかけになるため、できるだけ簡単に書くことができる容易なツールを再度検証する必要がある。

参考文献

ベネッセ教育総合研究所/「学習と生活の記録」で生徒の内省を促す/参考日:令和6年1月31日
https://berd.benesse.jp/berd/center/open/kou/view21/2005/10/06report_10.shtml